

# 城かべ 屋根しっくい

大袋20kg  
小袋4kg

- 練り状なので、現場での面倒な作業は一切不要。
  - 太めのマニラスサと南京スサをふんだんに使用。
  - 油は添加済みで、そのまま外部に使えます。
  - 乾燥すれば真っ白、そのままの仕上げも可能です。
- 銀杏草の炊きのりで作った、本格派練りしっくい。  
日本の風土で培われ、親しまれた「炊きのりしっくい」を屋根、  
中途用に固練り、手軽に使えるパックにしました。



## 商品概要

- |         |  |
|---------|--|
| ①品名     | 城かべ屋根しっくい 城かべ屋根しっくい小袋  |
| ②性状     | 白色パテ状 骨材入り   |
| ③主原料    | 消石灰、貝灰、細骨材、海藻、植物繊維、植物油、その他   |
| ④荷姿     | 20kgポリ袋 (小袋：4kgポリ袋ケース6袋詰)  |
| ⑤用途     | 壁中塗り・屋根・彫刻・蛇腹引き  |
| ⑥用法     | 混練不要 コテ塗り  |
| ⑦塗面積(壁) | 5㎡(1.5坪)/2.5mm～2.5㎡(0.8坪)/5mm<br>(小袋：1㎡(0.3坪)/2.5mm～0.5㎡(0.15坪)/5mm) |



# 城かべ 屋根むっくわ

## 施工要領

### 1. 混練

- ① 開封する前に袋の上から軽く踏みほぐしておきます。
- ② 袋から直接コテ板に取り出してお使い下さい。多く使用される場合・水と分離している場合は容器に移して練るとよいでしょう。
- ③ 壁の中塗には砂を10kg程度と少量の水を加えてください。
- ④ 油はあらかじめ添加していますが、追加する場合は「城かべ油」を添加して、良く練ってください。

### 2. 下地処理

- 屋根瓦の鹿子止めは、瓦表面の汚れを取り、シーラーを塗布します。
- 左官下地は完全に養生、乾燥させて、シーラー引きまたは水打ちをします。

### 3. 塗り付け

- (屋根)
- ① 晴天の続く時期を選び、一気に仕上げして下さい。
  - ② はじめ薄くしごき塗りした後、5mm程度の厚さで数回に分けて塗り重ねます。
  - ③ 塗付後1日おいて、改めて表面をよく押えておくと長もちします。
- (壁)
- ① 砂割りした材料をしごき塗りし、不陸を直します。
  - ② 金ゴテで充分押えて下さい。(刷毛で軽く目荒ししておくと土塗りがかけやすくなります)
  - ③ 上塗り材は生乾きのうちに追いかけて塗って下さい。

## 試験項目 (試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904,6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウエザーメーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃~80℃ 10サイクル)
合格	10.2	3.2kgf/cm <sup>2</sup>	異常無し	異常無し

## 施工上の注意

- ① 砂割りする場合、砂の量が多すぎると強度不足になりますので規定量を守ってください。
- ② 長期保存しても品質には影響ありませんが、目安として製造後6ヵ月経ったものは試し塗りし、保水性が落ちている場合は糊剤(粉末銀杏草)を添加してください。
- ③ 土中塗や付着しにくい下地、施釉瓦には必ずシーラー引きを施してください。
- ④ 秋、冬期の屋根しっくい工事は凍害が起りやすく、硬化不良、剥落の恐れがありますので施工を控えてください。(日中温かくても霜の降る時期は不可)

製造



田川産業株式会社

〒826-0041 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484